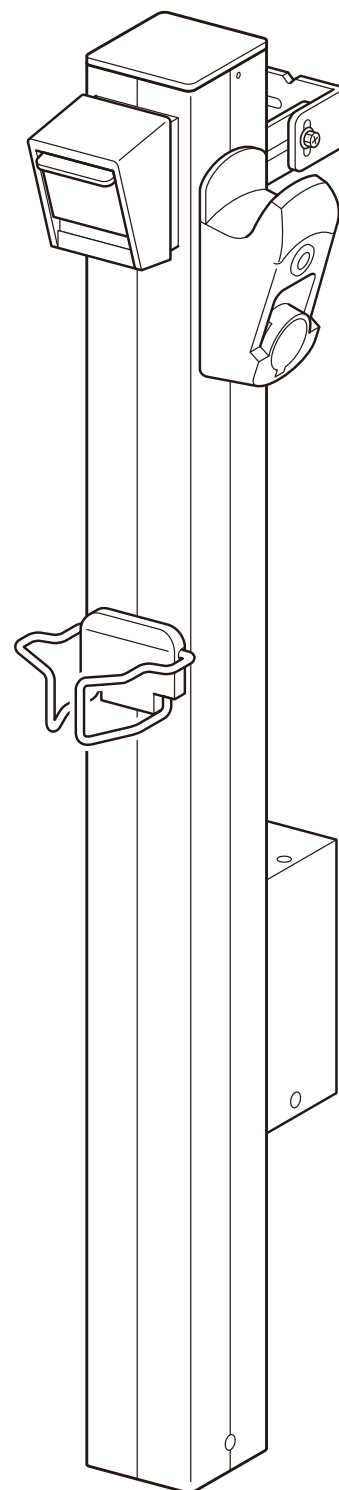


Abani ポール 壁固定タイプ

施工手順書 APL-1200W



目次

1. 安全上のご注意	1
2. 施工上のご注意	1
3. 仕様	2
4. セット明細／各部名称	2
5. 寸法図	3
6. 使用工具	3
7. 壁面の施工寸法	4
8. ポール本体の施工寸法	4
9. ポール本体の施工	4

■安全かつ適切な施工を行うために、この施工手順書を必ずお読みください。

■据え付け工事の前に「安全上のご注意」および「施工上のご注意」(1～2ページ)を必ずお読みください。

■この施工手順書は、お客様ご自身で取扱説明書と共に保管してください。

1. 安全上のご注意

機器の施工には法令で定められた資格が必要となります。

- 人や財産の安全を確保するため、必ず守っていただくことを説明しています。
- 注意事項に従わない場合の事故や故障につきましては、責任を負いかねます。

■誤った施工による危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■お守りいただく内容を、以下の図記号で示しています。

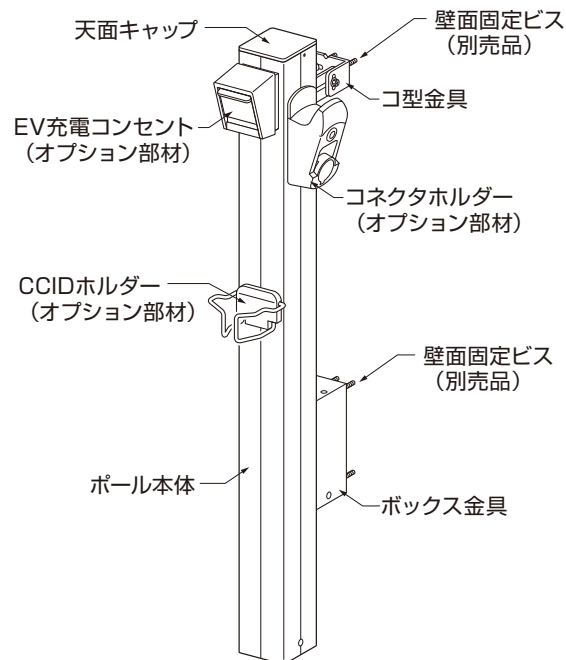


禁止 (してはいけないこと) を示します。



強制 (必ず守ること) を示します。

取付対象機器



オプション部材は、一例となります。
EV充電コンセントの種類により、使用するオプション部材が異なるため、事前に必要な部材をご確認ください。
各オプション部材は、設置用の開口やねじ穴の加工はされていません。
施工時に加工のうえ、取り付けてください。
オプション部材は、背面側には取り付けないでください。

2. 施工上のご注意

必ずお守りください。

警告

禁止事項	・分解や部材取り付け目的以外の穴をあけるなどの改造はしないでください。感電や火災のおそれがあります。
	・活線工事（通電状態での工事）はしないでください。感電のおそれがあります。
	・冠水や水没する場所には設置しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
	・可燃性ガスや引火物の近くに設置しないでください。火災の原因となります。
必ず守る	・施工は施工手順書通り正確に行ってください。転倒やけがをするおそれがあります。
	・1回路ごとに必ず漏電ブレーカを設置してください。漏電による感電のおそれがあります。
	・本体にはD種接地工事を行ってください。漏電による感電のおそれがあります。
	・漏電ブレーカの動作を確認してください。感電・火災の原因となります。

注意

禁止事項	・製品の上に乗ったり、足を掛けたり、もたれかからないでください。転倒してけがをしたり、製品が破損するおそれがあります。
	・取付対象機器以外の取り付けは行わないでください。強度不足や予期せぬ不具合が発生する原因となります。
	・モルタル急結剤、海砂などは使用しないでください。さびなどの腐食の促進により、製品倒壊の原因となります。
必ず守る	・工事時は、作業用手袋などの保護具を着用してください。けがをするおそれがあります。
	・運搬、設置の際は周囲の安全を十分確認してください。落下、転倒、衝突により、けがのおそれがあります。
	・荷崩れを防ぐため、適切に保管してください。荷崩れしてけがの原因となります。
	・ポール本体、底板に植栽などの土がかからないように管理してください。さびなどの腐食の促進により、製品倒壊の原因となります。
	・コンクリート基礎は乾くまで養生期間を取ってください。転倒や傾きの発生の原因となります。

・その他の安全に関する注意事項については、対象機器の説明書に従ってください。

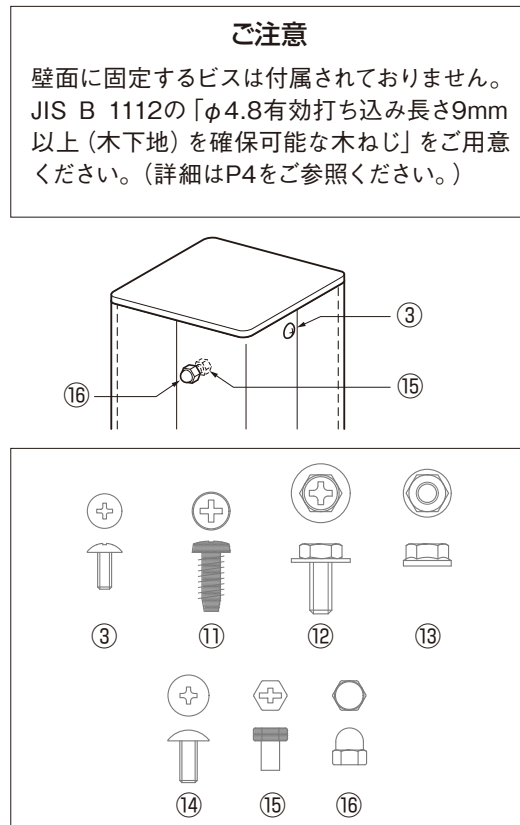
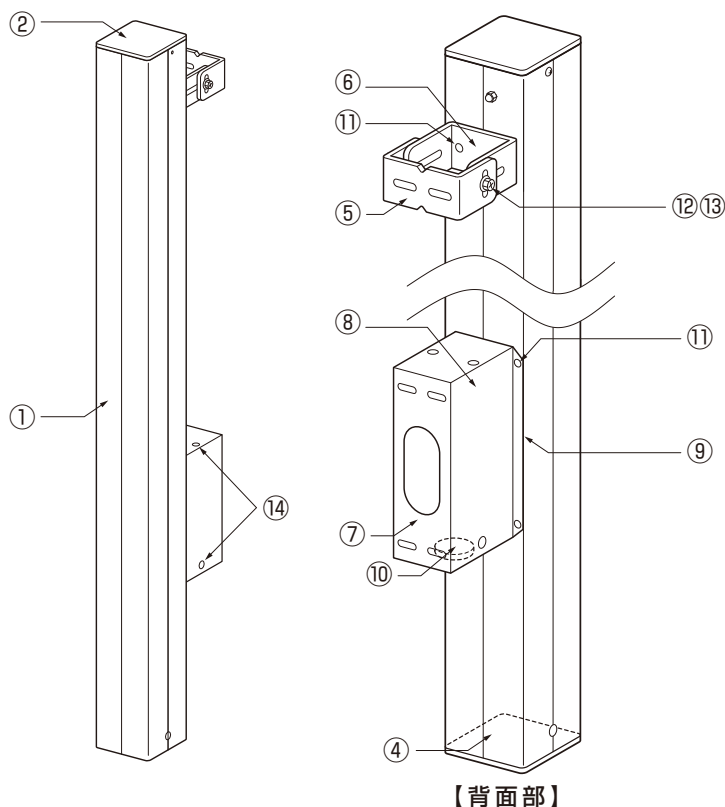
- 次の場所には設置しないでください。
 - ・過酷な取り扱いを受ける場所。
 - ・常に水が多量にかかる場所。
 - ・過度な積雪または霜にさらされる場所。
 - ・植栽に埋もれる、または覆われる場所。
 - ・風速40m/s以上の強風が吹くおそれのある地域。
 - ・使用温度範囲を超えるおそれのある地域。
 - ・温度または気圧の急変が発生する地域。
 - ・過度の水蒸気、油蒸気、煙、埃、塩分または腐食性物質が空気中にある場所。
 - ・爆発性、可燃性またはその他有害なガスが空気中にあるか、そのおそれがある場所。
 - ・強度の電界や磁界にさらされる、または異常な振動や衝撃を受ける場所。
 - ・階段や避難口付近など、避難行動に支障をきたす場所。
 - ・通路となる場所、および人がぶつかる可能性の高い場所。
 - ・車両と接触する可能性のある場所。
- 設置には以下のことを必ず守ってください。
 - ・製品の耐荷重は445Nです。設置する壁に十分な強度がない場合は、補強工事をしてください。
 - ・駐車スペース付近に設置する際は、必ず防護柵などを設置して、製品への衝突を防止してください。
 - ・コンセントやその他部材の取り付け・メンテナンスができるように、周囲に十分な空間を確保してください。
- ・建物の壁にそった施工を行う場合は、建物の基礎と干渉しない位置を確認のうえ、施工してください。
- ・ボール本体内部への水溜まり防止のため、必ず割栗石を敷いてください。
- 製品の取り扱いには以下のことを必ず守ってください。
 - ・落下などの強い衝撃を加えると破損、傷の原因となりますので丁寧に扱ってください。
 - ・開梱時に、刃物などで製品に傷をつけないよう気をつけてください。
 - ・傷の原因になりますので、ボールを床に直置きすることは避けてください。
 - ・腐食の原因となるため、傷をつけないよう十分に気をつけてください。
- 配線工事は以下のことを必ず守ってください。
 - ・「電気工事士」の資格のある方が施工してください。
 - ・「内線規程」に基づいて施工してください。
 - ・専用回路を設けてください。
 - ・ボール本体に銅板やラスなどの異種金属が接触するおそれがある場合は絶縁処理をしてください。
- 清掃時は以下のことを必ず守ってください。
 - ・リシンやモルタル・コンクリートなどが製品に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
 - ・施工時の汚れ落しにシンナー、塩酸などは使用しないでください。
 - ・製品に水をかけて清掃しないでください。
- 施工後は、取扱説明書・施工手順書をお客様にお渡しください。

3. 仕様

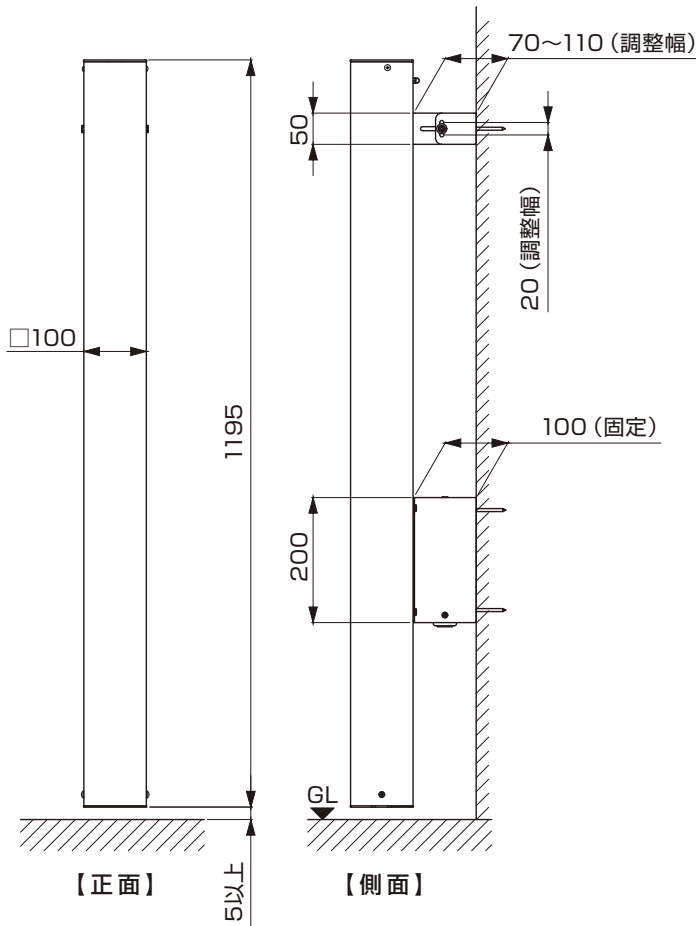
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様
型番	APL-1200 W	使用温度範囲	−40℃～+50℃	質量	5.2kg
設置方法	壁固定タイプ	寸法	高さ 1,195mm × 幅 100mm × 奥行 200mm		
色	シルバー、マットブラック				

4. セット明細／各部名称

記号	名称	材質	数量	記号	名称	材質	数量
①	ボール本体	アルミ形材	1	⑨	ゴムシート	EPDM	1
②	天面キャップ	アルミ鋳物	1	⑩	グロメット	EPDM	1
③	キャップビス M4 × L12	ステンレス	2	⑪	カバービス M5 × L16 (タッピン/ブラック)	ステンレス	6
④	底板	高耐食性溶融亜鉛めっき銅板	1	⑫	コ型固定ビス M6 × L15 (六角頭)	ステンレス	2
⑤	コ型ベース	高耐食性溶融亜鉛めっき銅板	1	⑬	コ型固定ナット	ステンレス	2
⑥	コ型カバー	高耐食性溶融亜鉛めっき銅板	1	⑭	ボックス固定ビス M5 × L12 (トラス)	ステンレス	4
⑦	ボックスベース	高耐食性溶融亜鉛めっき銅板	1	⑮	アースボルト M5 × L8 (六角頭/グリーン)	真鍮	1
⑧	ボックスカバー	高耐食性溶融亜鉛めっき銅板	1	⑯	アースナット M5 袋ナット	ステンレス	1



5. 寸法図



金具の取り付け位置

通常は、コ型金具を上、ボックス金具を下（左下図）に取り付けます。既設コンセントボックスが上側にあり、その位置にボックス金具を取り付ける場合に、ボックス金具を上（右下図）に取り付けてください。

ご注意

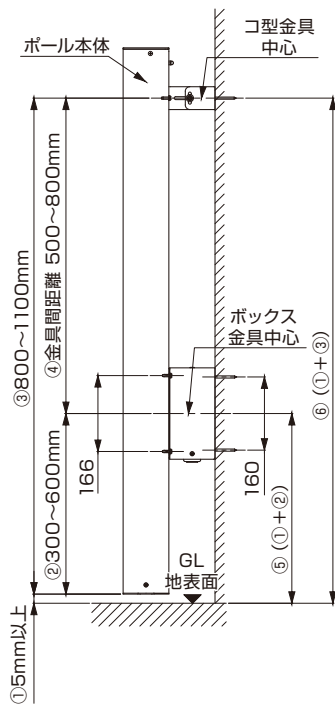
既設コンセントボックス箇所へボックス金具を取り付ける場合は、次ページの「壁面の施工方法」に記載の条件を満たしている事を事前にご確認ください。

以下の手順でコ型金具、ボックス金具の位置を決めてください。（コ型金具が上、ボックス金具が下の場合）

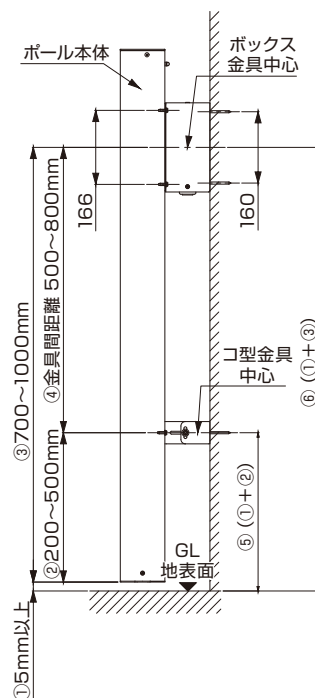
1. 「①下隙間（地表面～ポール本体下面）」の施工寸法を決めてください。
2. 「②ポール本体下面～ボックス金具中心」の施工寸法を決めてください。
3. 「③ポール本体下面～コ型金具中心」の施工寸法を決めてください。
4. 「④金具間距離（③－②）」を計算し、施工可能範囲外の場合は、②を小さくする、もしくは③を大きくして施工可能範囲内に収めてください。
5. ①～④まで全ての寸法が施工可能範囲内にある事を確認してください。
6. ⑤、⑥を計算し、地表面からの金具の取付位置を確認してください。

ボックス金具が上、コ型金具が下の場合も同様の手順で、位置を決めてください。

施工可能範囲
（コ型金具が上、
ボックス金具が
下の場合）



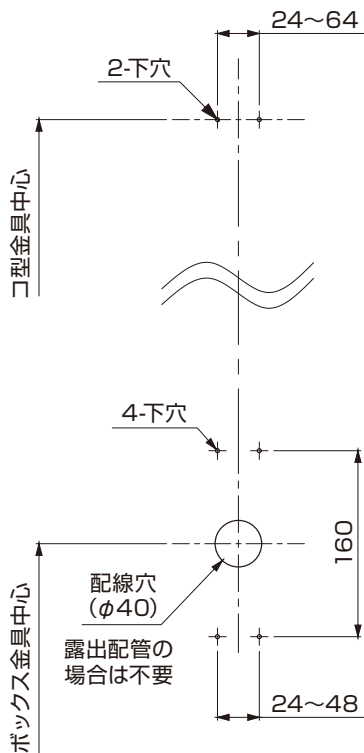
施工可能範囲
（ボックス金具が上、
コ型金具が
下の場合）



6. 使用工具

- 電動ドリルドライバー
- プラスドライバー
- 巻き尺
- 水平器
- 配線工事用工具類
- ホールソー（壁加工用）
- メガネレンチ、またはスパナ（8mm、10mm）
- スタビドライバー
- 墨出し器
- スタッドセンサー（壁裏探知機）
- ホールソー、またはステップドリル（アルミ加工用）
- ドリルビット $\phi 3.6$ （呼び4）、 $\phi 4.5$ （呼び5）（オプション部材により、不要となる場合もあります）

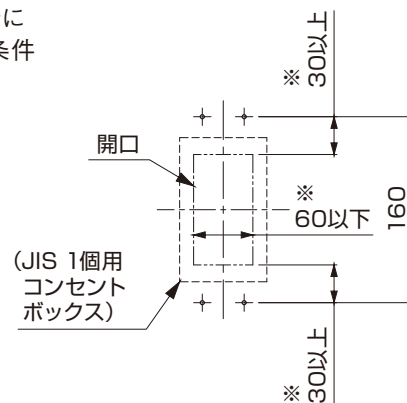
7. 壁面の施工寸法



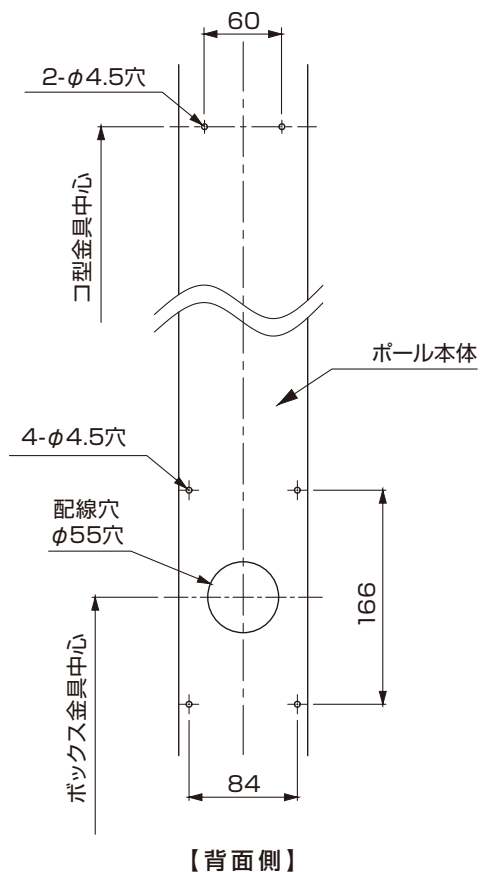
ご注意

- ・既設コンセントボックス箇所へのボックス金具の施工は、開口から下穴までの距離が30mm以上、かつ開口（横幅）が60mm以下（※）で、「JIS 1個用」の場合にのみ取り付けが可能です。（その場合、コンセントボックスは取り付けられた状態で施工可能です。）
- ・製品の耐荷重は445Nです。設置する壁に相応の荷重が加わる可能性があるため、十分な強度がある場所へ施工してください。（強度不足の場合は、補強工事をしてください。）
- ・φ4.8木ねじ（別売品）の、木下地への有効打ち込み長さ9mm以上を確保可能な場所へ施工してください。
- ・木ねじの下穴は、十分な引き抜き強度が得られる適切なサイズとしてください。

既設コンセントボックス箇所に
ボックス金具が施工可能な条件



8. ポール本体の施工寸法



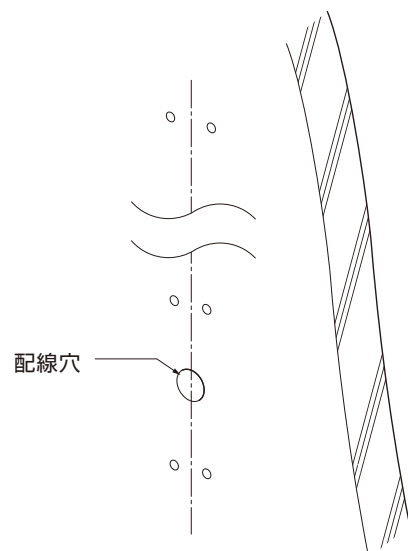
9. ポール 本体の施工

1. 壁面への施工

「壁面の施工寸法」を確認のうえ、木ねじの下穴（6箇所）と配線穴をあけてください。

ご注意

- ・露出配管を行う場合は、配線穴は不要です。
- ・コ型金具とボックス金具の中心位置が横にずれると、ポール本体が傾くおそれがあるため、正確にケガキを行い加工してください。

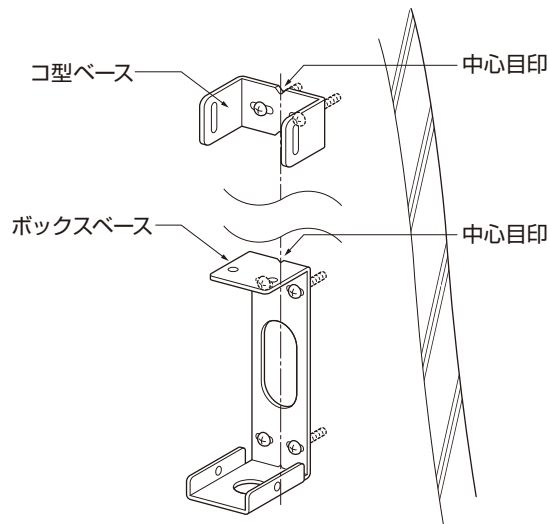


2.ベース金具の固定

金具の中心目印を確認のうえ、コ型ベースとボックスベースの中心位置が合うように調整し、木ねじで固定してください。

ご注意

- ・壁面に固定するビスは付属されておりません。JIS B 1112の「 $\phi 4.8$ 有効打ち込み長さ9mm以上（木下地）を確保可能な木ねじ」をご用意ください。

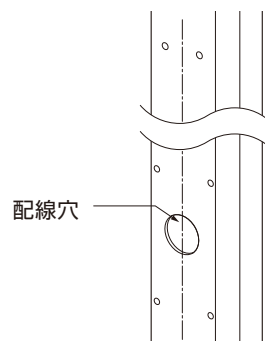


3.ポール本体への加工

「ポール本体の施工寸法」を確認のうえ、カバービスの下穴（6箇所）と配線穴をあけてください。

ご注意

- ・コ型金具とボックス金具の中心位置が横にずれると、ポール本体が傾くおそれがあるため、正確にケガキを行い加工してください。
- ・ポール本体に傷が入らないよう、養生をしたうえで加工してください。



【背面側】

オプション部材を取り付ける向きや高さを事前に確認してください。
各オプション部材の説明書を確認のうえ、ポール本体に穴加工をしてください。

タッピングねじを使用してポール本体に固定する場合は、以下に従ってください。

- ・ねじの種類：タッピングねじ 2 種
- ・ねじの下穴径：呼び径4の場合は $\phi 3.6\text{mm}$
呼び径5の場合は $\phi 4.5\text{mm}$

オプション部材の推奨加工寸法は、
こちらからご確認ください。

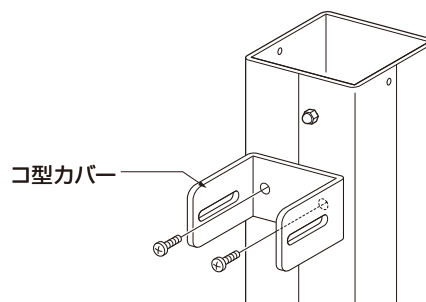


4.カバー金具の固定

コ型カバーをカバービス（ブラック）で固定してください。

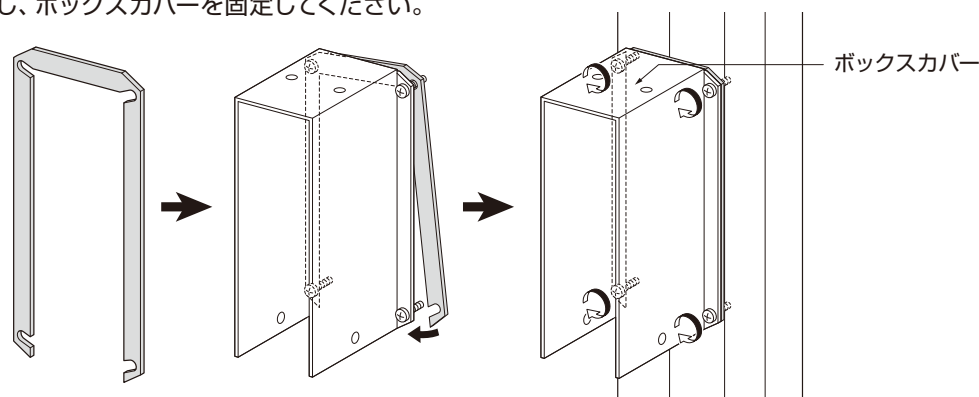
ご注意

- ・ビスを強く締めすぎるとビス穴が破損する（ビスが空転する）おそれがあります。ビスが着座してから強く締めすぎないでください。



【背面側】

- ・ボックスカバーをカバービス（ブラック）で、5mm程度すき間が残る状態まで仮固定してください。（4箇所）
- ・ゴムシートの切り欠きを、ビスに合わせて差し込み、取り付けてください。（4箇所）
- ・カバービスを本固定し、ボックスカバーを固定してください。



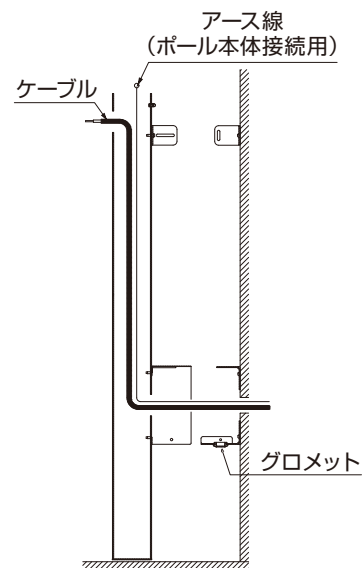
【背面側】

5. ケーブル、アース線の引き込み

壁の配線穴からケーブル、アース線（ポール本体接続用）を引き込んでください。
ケーブルは充電コンセントの配線穴から引き出し、アース線はポール本体の上から引き出してください。

ご注意

- ・製品内部の配線は、絶縁処理および防水処理をしてください。漏電の原因となります。

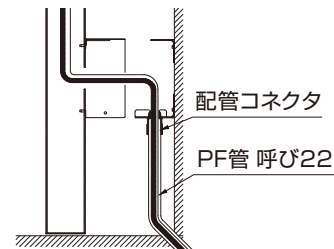


露出配管の場合

ボックスベース付属のグロメットを取り外し、配管コネクタ、PF管 呼び22を取り付ける。
配管コネクタからケーブル、アース線を引き込んでください。

ご注意

- ・金具の組立後に配管コネクタ（挟み込みタイプ）の取り付けは出来ないため、先に配管コネクタ、PF管を取り付けておいてください。
- ・配管コネクタ及びPF管は別売品となります。

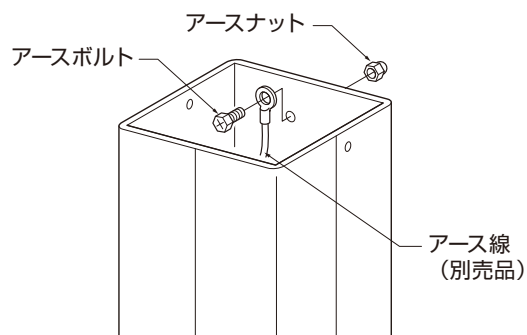


6. アース線の取り付け

アース線をアースボルトとアースナットではさみ、締め付けて固定してください。

ご注意

- ・露出配管の場合もアース線を固定してください。

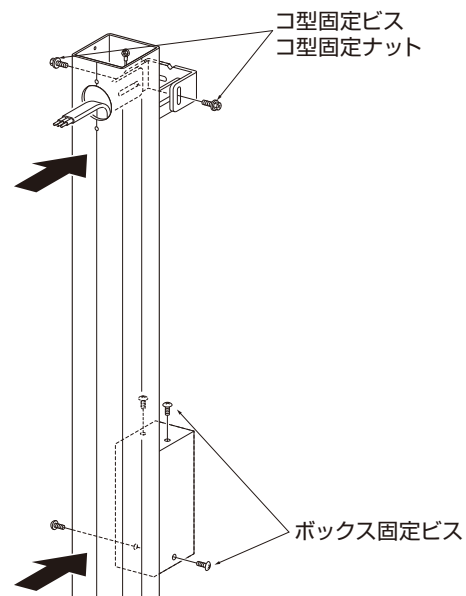


7. コ型金具、ボックス金具の組み立て

- ・上下のベース金具、カバー金具を組み合わせてください。
- ・コ型固定ビス／ナット（2箇所）、ボックス固定ビス（4箇所）を仮固定してください。（金具が少し動く状態）
- ・ボックス固定ビスを本固定してください。
- ・コ型固定ビス／ナットを本固定してください。
- ・ポール本体に傾きがないことを確認してください。

ご注意

- ・必ず手順をまもり、施工してください。手順通りに施工しない場合、金具が変形する原因となります。
- ・ポール本体が傾く場合は、金具を外し、ベース金具の位置を調整してから組み立ててください。

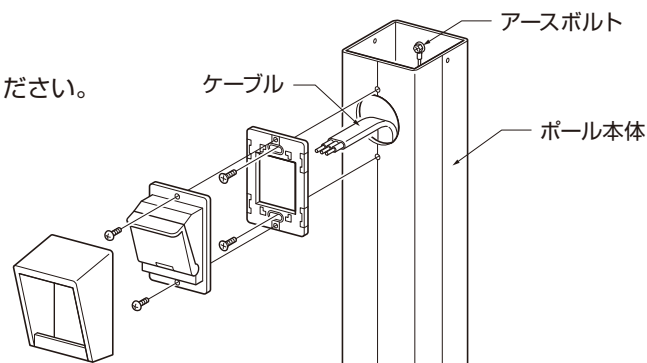


8.電気の配線、オプション部材の取り付け

オプション部材の施工説明書に準じて、部材を取り付けてください。

ご注意

- ・EV充電コンセントや、各種ホルダーなどのオプション部材は、オプション部材側の施工説明書を必ずご確認ください。
- ・オプション部材は、背面側には取り付けないでください。（アースボルトが付いている面が背面です。）



【EV充電コンセント施工例】

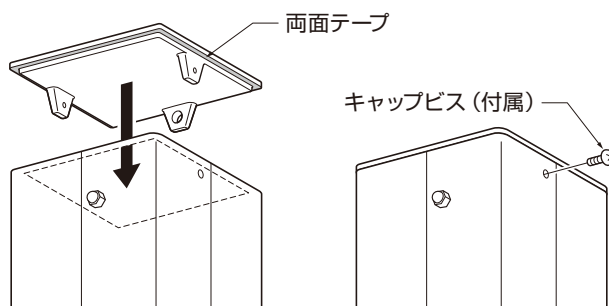
9.天面キャップの取り付け

両面テープの離型紙をはがします。

「天面キャップのねじ穴」と「ポール本体の穴」の向きを確認のうえ、上から押さえてポール本体に取り付けます。キャップビスを固定します。

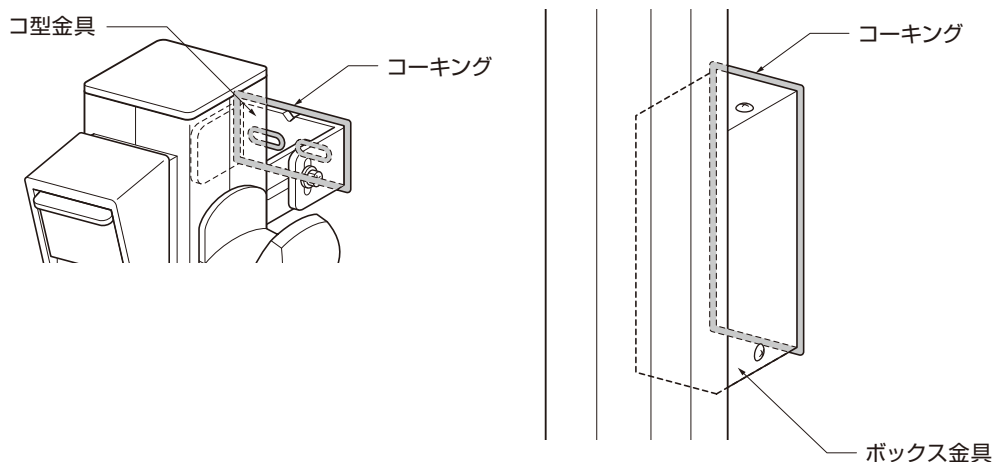
ご注意

- ・止水性能を確保するため、天面キャップはしっかりと押さえて固定してください。
- ・天面キャップ取り付け後に、一度取り外すと止水性能が損なわれるため、取り外さないでください。



10.止水処理

雨水などが壁の内部に侵入しないよう、コ型金具と壁の接地部やビス穴部に対して、また、ボックス金具と壁の設置部に対して、コーキングなどの止水処理を施してください。



お問い合わせ先

- WEB入力フォーム
<https://www.inaba.co.jp/contact/abaniact/#8>
- 因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部
TEL : 06-7669-1796



因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部